

	今後の方向性(案)
舗装 (埋設深さ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルや管の埋設基準を緩和。ただし、埋設位置の詳細は、施工性・安全性等海外の状況も踏まえて検討。 ・ 現道への導入には、安全性やメンテナンス(掘り返し上の課題)等について検討が必要。
ケーブル (埋設深さ)	<p>【電力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掘り出した電力ケーブルについて、傷や変形等の詳細な分析と絶縁耐力試験等の電気的特性に関する試験を実施予定。 ・ シースの傷や変形等による絶縁性能への影響の確認予定。 ・ 上記試験等の結果を踏まえて、今回の実験で行った地下に埋設したケーブル等の評価と評価結果を踏まえた対応方策を検討予定。 ・ 安全性やメンテナンス性について検討が必要。 <p>【通信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋設したケーブル全数について傷や変形等を確認予定。 ・ メタルケーブル、同軸ケーブルについては、上記の確認等の結果を踏まえて、今回の実験で行った地下に埋設したケーブル等の評価と評価結果を踏まえた対応方策を検討予定。 ・ 光ケーブルについては、安定した通信品質を確保するためケーブルを保護する等の対策を講じる方向で検討を進める。 ・ 安全性やメンテナンス性について検討が必要。
ケーブル (離隔距離)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力ケーブルと通信ケーブルが近接した状態において、電力ケーブルのアーク放電による通信品質及びシースに及ぼす影響について確認し、電力ケーブルと通信ケーブルの離隔基準の緩和について検討を進める。
小型ボックス等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷を受けにくい蓋の検討を進める。